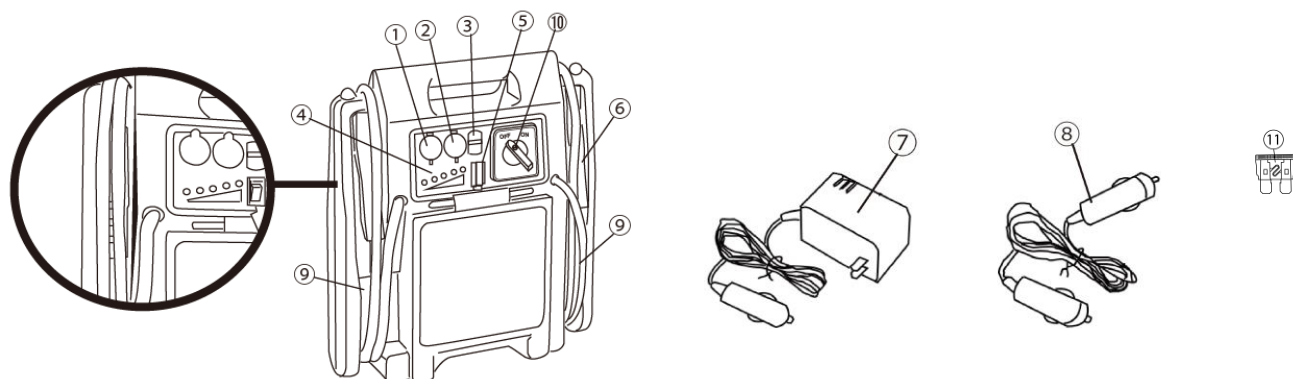


取扱説明書

パワー・ステーション DC12V **非防水**
品番：#332342000 型式：HW12SC

1, 各部名称



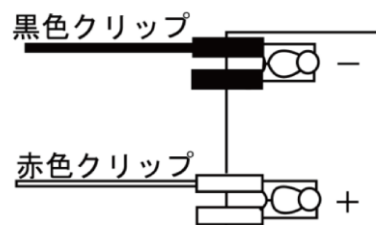
①	ソケット	⑤	テストスイッチ	⑨	クリップホルダー
②	ソケット	⑥	クリップ	⑩	切替スイッチ
③	10Aヒューズ	⑦	AC100V充電アダプター	⑪	予備10Aヒューズ
④	電源容量表示ランプ	⑧	DC用充電アダプター		

2, 充電方法

- ①バッテリーの状態によりますが、5～13時間で100%満充電になります。**連続2.4時間以上の充電は絶対にしないで下さい。**
 - ②13時間以上充電しても満充電にならない場合は、バッテリーの消耗が考えられます。
 - ③必ず使用後、及び**未使用でも、3ヶ月毎に充電**して下さい。
 - ④AC電源で充電をする場合は、付属のAC100V充電アダプターを家庭用コンセントと本機ソケットに差し込んで下さい。
 - ⑤DC電源で充電をする場合は、乗用車（DC12V車）のエンジンを始動させて、付属のDC用充電アダプターを使用して、アクセサリソケットと本機のソケットに接続して下さい。**DC24Vバッテリーの車では充電出来ません。**
 - ⑥充電アダプターをソケットから抜いてテストスイッチを押して100%の電源容量表示ランプが点灯したら満充電です。
 - ⑦10Aヒューズが熔断した場合は、同等ヒューズと交換して下さい。10A以外のヒューズは取り付けしないで下さい。
- △AC100V充電アダプターを本機の充電以外に使用しないで下さい。**

3, 使用方法

- ①車のイグニッションキーをOFFにして下さい。
- ②目を保護する安全眼鏡を掛けて、身に付けている貴金属を取り外して下さい。
- ③切替スイッチがOFFの位置にある事を確認して下さい。
- ④赤色（+）クリップをバッテリーの陽極（+）端子に、黒色（-）クリップをエンジンブロック等のアースが取れる場所に確実に接続して下さい。この時、**クリップ（コード）がベルトやファンに接触しない様に注意**して取り付けして下さい。
- ⑤確実にクリップがバッテリーに接続されている事を確認し、切替スイッチをONの位置まで回して下さい。
- ⑥イグニッションキーを回してエンジンを始動させて下さい。もし、エンジンが始動しない時は、クリップをバッテリーに接続したまま、約3分後に再始動を試みて下さい。尚、**セルを6秒間以上、始動させない**で下さい。
- ⑦エンジン始動後、切替スイッチをOFFの位置まで回してから、**まず黒色クリップから外し、その後、赤色クリップを外して、両方のクリップを必ずクリップホルダーに挟み込んで固定してから保管**して下さい。
- ⑧使用毎に本機を必ず充電して、**100%のLEDランプを点灯**させて下さい。
- ⑨DC12V（10A以下）電源の電化製品を使用する場合は、アクセサリソケット（出力）に電化製品の電源プラグを差し込み、使用して下さい。



4, 注意事項

△危険事項（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う事になるもの。又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。）

- ①エンジン始動時にクリップは決して取り外さないで下さい。スパーク、爆発、火災の原因になります。
- ②塩害、塵埃、可燃性ガス、可燃性物質、火の気の無い、風通しの良い場所で使用して下さい。火災の原因になります。
- ③本機の充電液の液が漏れて身体、目に付着した場合、直ちに洗い流して、医師の診察を受けて下さい。
- ④**赤色クリップと黒色クリップを接続（接触）させたり、本体や充電コード、クリップに他の金属類を差し込んだり、接続しないで下さい。又、導電性のある場所に、クリップを置かない**で下さい。スパーク、爆発、火災の原因になります。
- ⑤本機のバッテリーを、充電しながら、車輛のバッテリーにクリップを接続してエンジン始動作業をしないで下さい。
- ⑥**車輛に積載して移動する場合は、周囲に導電性、ショートする物が無い、安定した場所に立てて固定**して下さい。
- ⑦本機に破損箇所がある場合は、直ちに使用を中止して下さい。事故に繋がる恐れがあります。
- ⑧本機は、乗用車（DC12V車）鉛バッテリー専用のエンジン始動補助機です。充電は出来ません。尚、全ての乗用車（DC12V車）のエンジンの始動を保証する物ではありません。
- ⑨凍結したバッテリーには、使用しないで下さい。
- ⑩本機は防水仕様ではないので、水を掛けしないで下さい。又、雨天時、水が掛かる環境では使用せず、屋内で保管して下さい。
- ⑪本機に重い物を載せたり、落下し易い場所での使用は不可です。
- ⑫**切替スイッチがONの位置で、赤色クリップと黒色クリップを接続させたり、接触させない**で下さい。スパーク、爆発、火災の原因になります。
- ⑬本商品を使用及び取り付ける機器（乗用車、トラック、各種電源等）の取扱説明書も合わせてご確認の上、使用して下さい。

